

## 小平市議会定例会 一般質問通告書

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

**質問件名** 教育の場で子どもの育ちをトータルに見据える支援を

**質問要旨** (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な内容を項目別に記入してください)

現在、通常の学級に在籍している子どもの中には知的発達に遅れはないものの、情緒面や社会性等で困難を抱えている子どもがいます。これまで、在籍する学級を一部抜けて、他校に設置された「情緒障がい等通級指導学級」で特別な支援を受けています。市は、情緒障がい等の通級指導学級が小学校 5 校、中学校 2 校、きこえとことばの教室が 1 校ありますが、通級指導を受ける児童・生徒が他校に通うことで移動の負担や安全面の心配、また学級担任と通級指導の担当教員との連携が困難なことなどの課題があります。東京都は在籍する学校で必要な支援を受けられるよう、「子どもが動く」のではなく、教員が巡回して指導する特別支援教室の導入を来年度から開始します。小平市は来年度導入校になる 3 校での説明会を終え、導入校の教室整備をしています。すべての子どもの発達とライフステージに沿って一貫した継続的な支援と、保護者とその家庭を支える取り組みになるよう期待して、以下の質問をします。

1. 特別支援教室が導入されることで、子ども、保護者、教員への期待される効果と課題について、お示してください。
2. 特別支援教室は、平成 29 年度から 2 か年かけて全小学校で導入される計画です。中学校での導入についての検討状況と市としてのお考えを伺います。
3. 今年度、設置された小平市発達支援相談拠点検討委員会では、発達支援相談拠点の機能、発達支援の方向性について検討されています。関係各課、機関等の連携による支援体制づくりの検討であるにも関わらず、学校教育関係者の委員は入っていません。就学支援や学齢期の支援、学齢期以降の相談支援など特別支援教育に関わる教育委員会との連携は外せないものと考えますが、ご見解を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則題 57 条第 2 項により通告します。

2016 年 (平成 28 年) 11 月 17 日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 平野ひろみ

受付番号【           】 - ( 2 / 2 )

整理番号 (通しNo.) …… (       8       )